

# JAITI 31

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL [jaiti@janis.or.jp](mailto:jaiti@janis.or.jp)

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協会の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの略称で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる糧」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

行 財団法人 日本農業研修場協会  
事務所 〒386-0502 長野県上田市武石沖456  
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

## 今日のジャイチ

理事長代行 島田基正

財団法人ジャイチの創設から今日まで、諸事業の企画、実施、管理を一手に引き受けておられた菊池健介理事長が五月に退任されました。また、設立者の小林榮理事長が六月に辞任いたしました。現在、理事長職は空席のまま、代行を私が引き受けました。ここまでジャイチを支え、貢献くださった皆様の善意と深いお心に敬意と感謝を申し上げますと同時に、今後も一層のご支援、ご参加をお願い申し上げます。

ジャイチは、視察れと果立ちのときに来たようです。ネパールでいくつかの事業が、自立運営をめざして動き出しています。

◆理事會・評議員會  
三月開催の理事會において、今年度の事業計画、予算案が承認されました。五月の理事會では、過年度の事業報告、決算報告が承認を受けました。また、評議員會において、新任理事、および監査が決まりました。

手塩にかけて育てた子どもたちが、いつの間にか親の背丈をはるかにこえて成長していくように、少しの困惑と安堵の気持ちがあります。国情不安なネパールで、今後の持続がどれだけ確かなものとなるか。なお、財団法人ジャイチの使命は終わることがありません。

◆ネパールでの活動  
帯瀬恵五さんのご寄付により完成し、昨年五月に開校したカカニプライタースクールにおいて関係者の方をお招きして三月に開校式を開催いたしました。

### 事業決算報告

科目	単位円
<b>収入</b>	
基本財産運用収入	807,263
基金収入	5,275,570
寄附金収入(特定者寄附金)	18,932,379
助成金収入	1,354,000
事業収入(現地視察研修・NGO相談員)	1,876,138
雑収入	3,496,712
当期収入合計	31,642,062
前期繰越収支差額	1,122,502
収入合計	32,764,564
<b>支出</b>	
農業技術者派遣事業	1,179,805
開発途上国からの農業技術者養成事業	207,228
武石実習農場事業	18,235
基金事業	301,623
開発途上国の農業団体への助成事業	5,914,180
流出出入国準備金置留事業	581,933
派遣技術者による調査研究事業	189,843
日本人職員による調査研究事業	2,169,831
現地視察研修調査事業	1,761,651
奨学金貸付事業	12,812
途上国の農業文化案内と視察観光材貸出事業	340,208
機関紙発行事業	663,835
管理費	4,475,503
経常外費用	67,315
当期支出合計	17,871,902
当期収支差額(事業指定寄附金控除)	13,770,160
次期繰越額(事業指定寄附金控除)	14,892,862

2005.04.01~2006.03.31

\*その他固定資産売却、特定預金等取崩金を条件の良い特定預金等に振り替え致しました。



▲ネパール-日本国の外文結締50周年記念の一環として開催されたカカニプライタースクール開校式典。左から、ロク・グルンさん(支援者の一人)、日本大使館の橋田二等書記官、帯瀬ご夫妻、菊池理事長。ネパールの新聞(Rising Nepal)でもニュースに取り上げられた。

◆武石事務所の新体制  
本年三月にネパール事務所長のマン・パハドール・シユレスト氏が来日し、常

務理事兼事務局長に就任いたしました。また、事務局に十三年間にわたって勤務いただいた豊田かずいさんが、三月末をもって退職されました。長い間、ありがとうございました。とうございました。七月から、上田市(旧丸子町)に在任の小山美香さんが、事務局に勤務しております。

### ジャイチ事務所の開業時間

- 月・金 午前九時から午後四時
- 火・木 午前九時から正午

### 新役員

- 理事 宮下 茂
- (社長)長野県農協地域開発機構に勤務。人材派遣部門担当。
- 二〇〇〇年から六年間ジャイチ監事を努める。(長野県上田市)
- 監事 小山 秀喜
- 公認会計士。四九才
- 前上田市監査委員、税理士法人小山会計代表社員。特技テニス、趣味山登り。(長野県上田市)

## ジャイチネパールの活動

### ●カカニ農場

カカニ農場から始まったイチゴ栽培は、いまや周辺農家を巻き込んで、質、量ともに地域の特産品と言われるまでになりました。

キウイフルーツ、さつまいもも同様です。

したがって、当面は新しい作物の導入ではなく、従来作物の品質向上と販路の開拓を最重要課題と考えます。

しかし、品質管理や市場開拓の必要を、生産者である農民自身が、自らの課題としてとらえるのは、そう簡単なことではありません。作れば売れて現金収入があるのだから、それでいいではないかと思いがちですから、この関門をくぐれば、ジャ

イチの農業開発事業の目的は、ほぼ達成したものと考えられます。

●カカニライタースクールの朝礼



●バシファント学校の入口の手術に学生たちで作った、バスのりば



### ●バシファント学校

二〇〇二年に一〇年制を前提とした全ての学校施設が完成しました。この時点で、すでに組織化していた保護者組合（SMCC）

に対して、毎年、一学年ずつを引渡し、地元主導の学校経営への転換を提案しました。これに沿って、二〇〇六年までに一、四学年までが、SMCCの傘下になりました。

ジャイチは、残る五、一〇年生が卒業するまでの六年間、財政的支援を続ける

義務があります。授業料を払っても子弟を学校に出したいという父兄が多く、毎年新入生の数は増え、現在の全校生徒数は三百三十七人です。

二〇〇六年の学校運営費用は、年間、およそ二百三十万円ですが、保護者組合が集める一、四年生までの授業料は六十九万円を予定しており、全体経費の三〇%程度になります。

学校現場では、経費削減にも努力しています。スタッフの入れ替えと人員削減、

無料であった給食の有料化、諸経費の削減などによって、毎年、平均八、一〇%減に成功しています。

二〇〇六年のSLC（全国一律の学力検定試験）を受けた一五人中一二人がストリートで合格しました。残り三人は追試に挑戦しますので、全員合格も夢ではありません。子どもたち、保護者、スタッフの努力の賜物です。

卒業後の子どもたちの進路についてはいづれ報告いたしますが、これまでにS

MC Cが雇用した五人の先生のうち、四名はこの学校の卒業生でした。

### ●カカニライタースクール

この学校は、授業料徴収を前提に計画を進め、開校して二年目に入りました。

全校生徒数は二〇〇五年九十七人、二〇〇六年は百四十八人に増えました。

学校が立地するカカニ地区は、イチゴ栽培による現金収入があるので、保護者の授業料負担は比較的軽いのではないかと考えられます。

二〇〇六年の学校運営費用は、年間、およそ九十五万円の予定ですが、内、六十八万円は授業料として集めることを想定しています。この金額は、全体経費の七十%に相当します。ちなみに、昨年の二〇〇五年の授業料収入が全体に占める割合は五十五%でした。実績は確実に伸びています。

このような経過を踏まえて、この学校の経済的自立は、五年後を目指します。

バシファント学校での経験が大いに役立っています。農場経営の成功と表裏をなすカカニに立地した成果ともいえるでしょう。

### ●カトマンズ事務所

今年四月から、ビル・ラム・グルン副所長、スリー・バハドール・KC事務員、ナンダ・ジレル事務員の三名のスタッフで、すべての現場を監督しています。

カトマンズ事務所の運営経費は二〇〇六年、百九万円を予定していますが、事務所の自立的経営にも取り組んでいます。

具体的には、カトマンズ事務所の建物を二階建てに改装して、賃貸事業を始めました。今年四月から月家賃三万二千円で貸し出し、ジャイチは月一万二千円の家賃を支払って、他にスペースを確保しました。

差し引き金額は年間で二十四万円になる予定です。これは、カトマンズ事務所の年間運営費の二〇%に相当します。

(マン、猪爪)



●ジャイチネパール事務所

# ネパール農業報告

カカニ農場、ナムター村地区

## ◆ネパールの近況

日本でも新聞、テレビなどで大きく報道され、ご承知のことと思いますが、きびしいネパール情勢から延期、延期で結局三月に行つてきました。

一月から四月のネパールは混乱状態で、二月もネパール共産党毛沢東主義派（マオイスト）による都市部と地方間の交通封鎖やゼネストなどで思うような行動ができず、カカニ農場とナムター村へは日帰りで行つて

くることしかできず残念でした。

その後の情勢ですが、五月に入り、一般市民による連日の激しいデモ行動などから国王が専政から譲歩、主要七政党が国政に復帰、非合法組織でしたが、全土の七〇％程度を支配するといわれるマオイストとの話し合いが持たれ、総選挙も計画されているようです。予断を許しません、一日も早い正常化を期待しています。



▲ナムター村でのイチゴ試作状況(3月)。1回目の収穫が終わり、2回目の収穫が始まっている。開花中の花もある。中央、筆者。

◆カカニ農場でのイチゴ主種梅津金二昨年九月に堆肥を入れて化学肥料を散布しているところ。この後、約一ヶ月後、マルチ張り、植え付けとなる。後方はマルチ張りまで終了している。



## ◆カカニ農場

五年前はじめてカカニ農場のイチゴを見たとき、ジャノメ病の発生がひどく驚きました。その後のマルチ栽培の導入や堆肥類の多施用などから熟爛化し、問題となるような発生はなくなり、喜んでおりました。

ところが昨年は定植後よりジャノメ病が発生し、収量に影響を及ぼすことになってしまいました。気象条件も関係したと思われるが、一番の原因はトウモロコシ

などしか作ったことのない新しい畑へ移動したことによる畑の肥沃度不足と考えられています。

ジャノメ病は肥料分が少なかったり、土壌の肥沃度が悪いと発生することが知られており、一年一作のものが多い農業の難しさを改めて感じました。

昨年末ごろより、そんな情報もネパールよりありましたので、防除農薬を持ち込み、施肥技術の改善、栽培管理全般についてアドバ

イスをしてきました。どんなに良く効く農薬を使用しても、管理が悪いと発病を抑えることは難しく、管理の重要性を再認識してました。

## ◆ナムター村地区

前号にも書いており皆様ご承知ですが、この地帯は標高一七〇〇m～二五〇〇mの高原野菜地帯で、キャベツ、カリフラワー、大根、アブラナなどのアブラナ科野菜中心の地帯です。

アブラナ科野菜特有の病害であるネコブ病（根がコブ状になり、養水分の吸収を阻害、正常な生育ができない）が多く、昨年ネコブ病抵抗性品種（ネコブ病にかららない、あるいは強い遺伝子を組みこんだ品種）を持ち込み試作しました。

持ち込んだ抵抗性品種が好成绩だったことから種子をほしいとの依頼が多く、今回大量に持ち込みました。ただ、ネコブ病菌にはレース（系統）が多く、すべてのレースの菌に効果がある訳ではなく、完全解決とはなりません、相当の効果が期待できます。

種子代が高いですが、当面この抵抗性品種対応で乗り切ることを考えています。本年あちこちで栽培されしますので、結果に期待しています。

## ◆イチゴの栽培

ナムター村で二年ほど試作して、ほぼ見通しがつかれました。まとめますと、標高二〇〇〇m以下の日当たりの良い、南斜面斜地帯で、水のあるところならカカニ地区と同じく充分栽培できると思っています。収量も概ね良好です。

栽培できることはわかりましたが、販売に問題があります。現地では初めて見る果物であり、ほとんど売れないようです。九〇㎞離れたカトマンドゥまで運びましたが、道路事情が悪く、荷傷みはげしく、難しいようです。現地イチゴを知ってもらうことから始めなくてはならず、今後の大きな課題であります。

（農業指導員 土屋 典恵）



▶カトマンドゥに運ばれたナムターのイチゴ（王宮）を祝う。三百年ほど前のヒンドゥ教仏教が世界で八百以上指定されている世界遺産のひとつだが、管理不十分で現在三十四ある危機遺産でもある。

## 事務局だより

## ▼ジャイチ

- 1月  
・機関誌30号を発送(約2,300通)  
・受取人払いアンケートはがき発送、支援者の意向調査。  
・パシファント学校奨学里親引き受け。神奈川県MLCウィメンズクラブ代表 鈴木貴久子さん。
- 2月  
・土地で所有していた基本財産を売却処分。現金化して運用益を得られるように債券を購入。
- 3月  
・評議員会(17日)開催。理事会(26日)開催。(2006年度事業計画予算、理事・監事の選任、審議、審判行為変更審議)  
・マン・バハドール・シュレスタ現常務理事事務局長 日本事務局に就任  
・ジャイチネパール監査指導とプライター学校祝賀式参列者の案内で池田理事兼ネパール往復  
・豊田かずい事務局長退職
- 4月  
・学校奨学里親引き受け。愛知県 稲垣茂樹さん。  
・新年度事務局運営態勢確立。マン事務局長を支えるボランティア参加者の役割分担決定。
- 5月  
・理事・評議員会21日同時開催。(2005年度の事業・決算報告、2006年度修正予算を両会で承認。評議員会で宮下理事、小山監事の選任。理事会で役員選出。病状が回復したので、小林受理事の理事長復帰を承認。副理事長に島田基正、菊池健介、常務理事にマン・バハドール・シュレスタ。  
・長期ネパールボランティア参加の関生子さん日本出国。
- 6月  
・理事協議会開催(26日)  
・小林理事長の辞任届け(体調不良)を受理する。理事長決定するまでの間、島田副理事長が理事長代行をする。今後の財団業務の方向性を協議。
- 7月  
・上田市在住の小山美智さんが事務局員として勤務に就く。  
・理事協議会開催(2日)理事、役分担を協議。

## ジャイチネパール▼

- 1月  
・パシファント学校ではSLC(高校卒業試験)を受ける前の学内模擬試験を実施し、スタッフSMCC(学校運営委員)との打ち合わせ。  
・ジャイチネパールの運営の見積り、予算を作成。  
・イチゴの収穫及び販売が続く。
- 2月  
・パシファント学校の学内模擬試験の結果。21人の中から15人合格(女子9人、男子6人)不合格は女子の6人。  
・パシファント学校とカカニ・プライター学校で2006年度入学試験の準備を開始。  
・スイートコーンの種まき、さつまいもの苗づくりの準備。  
・カトマンズ事務所を借りて、使用中の事務所を賃借して家賃収入を稼ぐ。
- 3月  
・パシファント学校10年修了生はSLC受験。プライター学校も含め両校で学校内の学年末試験を実施。  
・土屋農産専門家訪問。パシファント地区でイチゴ、キャベツ栽培の指導及びカカニ農場でイチゴの販売の指導。  
・7日、カカニ・プライター学校の寄附者を招いての祝賀式典を開催。  
・カトマンズ事務所移転。元の事務所から徒歩5分。
- 4月  
・パシファント学校、プライター学校、校長先生を含む人事移動。  
・SMCCに4年生まで引き渡し、及び無料を出していた給食を中止。  
・今日は全国でデモ、ストライキが今までより多くて燃料、食料品などが不足し、値上がりしました。学校もほとんど休校させられました。
- 5月  
・パシファント学校の小学校の先生はすべてSMCCの責任で雇うことに決定。  
・保健室運営のため、現地の看護士担任。  
・カカニ幼稚園の設立前から指導を受けていたボカラジョティケンドラ幼稚園の川岡シスターがプライター学校の状況視察。  
・カカニ農場ではさつまいもの定植。  
・雹(ひょう)が降って、イチゴの株苗が傷み、キウイフルーツの落果被害。  
・里親の方から奨学金を頂いた児童が御礼の手紙を郵送。  
・長野県の上松中学校より衣類、文房具の寄附がありました。
- 6月  
・パシファント学校では12日に14周年のお祝い、プライター学校では26日に1周年の祝賀式開催。  
・長野県の森田宏さんの義徳で既に借界された森田かおりさんから学校のためにとキーボードを寄附して頂きました。
- 7月  
・SLCの結果は15人が受験して、12人が合格。

## パシファント学校奨学里親募集

現在、七年、八年生各二名、  
九年、十年生各二名の計六  
名の里親を募集しています。  
奨学金は年間六万円です。  
期間は基本的にその学年  
が十年生を卒業(八年生は  
三年間、九年生は二年  
間、十年生は今年一年  
のみ)するまでです。  
里親になっていただき  
ますと、児童からの手  
紙・写真の送付や学年  
末に進級の報告があつ  
たりして、いろいろの  
交流が生まれます。こ  
の半年で、神奈川県  
の鈴木貴久さんが六年  
生を、愛知県の畔柳茂  
樹さんが七年生を引き  
受けてくださることに  
なりました。残り七、八年  
生の各一クラス、九年、十  
年生の各二クラスの計六ク  
ラスです。皆様のお申し出  
をお待ちしております。

(事務局)

ご協力ありがとうございました

世田谷フリーマーケット(東京都世田谷区)  
長門道の駅フリーマーケット(長野県長和町)



▲チャングナラヤン寺院(バクタプル)

## お知らせ

## ◆物品ご寄付について

ネパールへの物品直送は法の改正により、課税対象となつてしまいましたので、ご遠慮ください。今後は文房具のみ事務局で受け付けますので、その旨ご了承ください。

## ◆第十七回ネパールの農場と学校訪問の旗は、今年度中止とさせていただきます。

個人的にネパールを訪れたい方は、事務局までお問い合わせください。

## ◆古切手の収集が続いています。

切手の回りに五ミリの余白を残してください。

古切手送付先

〒五八〇〇八四

世田谷区東玉川二〇二二〇

安藤雅子

## 編集後記

事務局に前ジャイチネパール支那人のマンさんが来ましたが、彼は礼儀正しく、お酒の好きな奥様思いの方で、日本協会にも問題ありません。

減多にネパールへ行けない私などは、少しネパールが近くなつたように感じます。多くの方が、事務局に集い、話っただければよいと思います。

(財)ジャイチの姿勢は変わらず、継承されていきます。

(※)

## 物故者のお知らせ

支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載いたします。ご冥福をお祈りいたしますと共に、今までのご支援に對し感謝いたします。

下山守人様 十七年十一月

(長野県)

坪井 榮様 十七年十一月

(岐阜県)

植田 壽様

(東京都)

北川久雄様

(滋賀県)

井相田雅典様

(茨城県)

若林司朗様

十八年四月

(大阪府)

寺村輝夫様

十八年五月

(東京都)